

経営比較分析表（平成29年度決算）

福井県 越前市

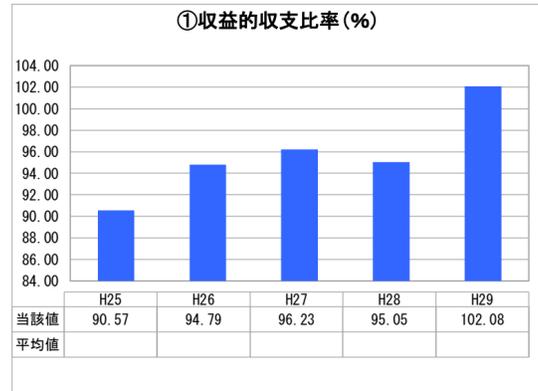
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	林業集落排水	G2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.07	100.00	2,624

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
83,061	230.70	360.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
62	0.06	1,033.33

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



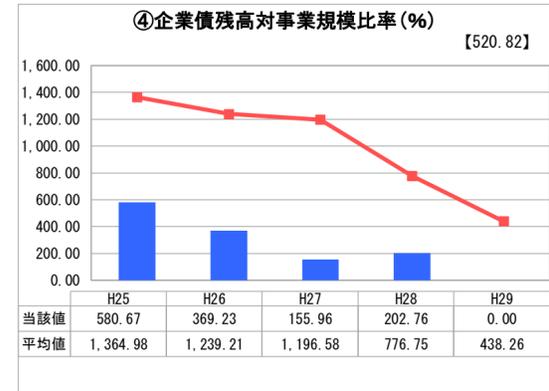
「単年度の収支」



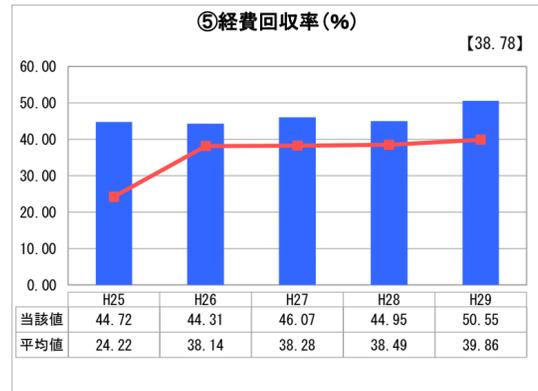
「累積欠損」



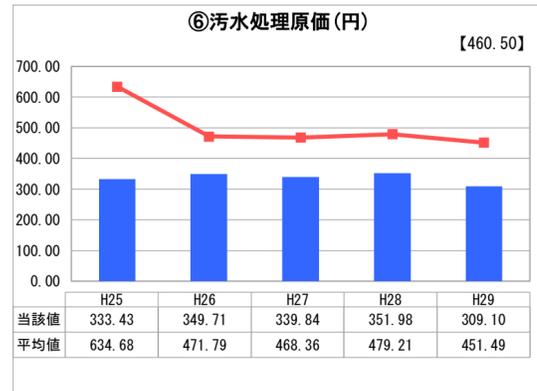
「支払能力」



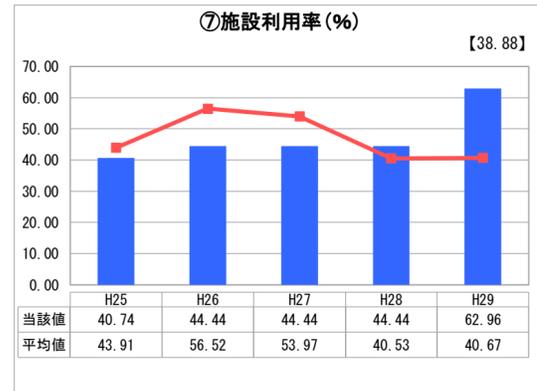
「債務残高」



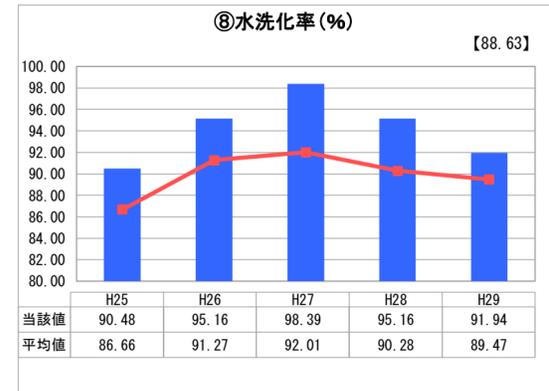
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

1地区のみの事業で、平成11年に供用開始し、現在⑧水洗化率は、ほぼ全世帯が接続している状況である。これに伴い、④企業債残高対事業規模比率、⑤経費回収率、⑥汚水処理原価についても類似団体と比較して良好であり、①収益的収支比率も100%前後を推移している。

しかし、⑤経費回収率については100%を大きく下回っている上、経営状況は、総収益の約3/4を一般会計繰入金に依存している。また、⑧水洗化率がほぼ100%にもかかわらず⑦施設使用率は低い状況である。これらは区域内人口が少なく、また減少傾向にあることが大きな要因である。

事業規模が非常に小さく、使用料収入の増加を見込める事業ではないため、今後は収納率の維持による使用料収入の確保と経費削減による経営改善に努めていく。

なお、④企業債残高対事業規模比率⑤経費回収率⑥汚水処理原価の数値が大きく改善されているのは、一般会計繰入金の繰入基準の変更による。

2. 老朽化の状況について

平成9年の事業着手以降、現在使われている資産のうち最も古いものが管渠で20年を経過している。

整備完了により今後の使用料収入の増加が見込めない中、将来の更新需要に対応するための財源の確保は難しいため、公営企業会計導入に伴う資産調査により、個々の資産の状態に応じた効率的・効果的な維持管理を行い、長寿命化・経費削減を図る。

全体総括

加入者の増加が見込めず、かつ人口減少により縮小傾向にある事業であるため、使用料収入の増加は難しいが、収納率の維持による使用料収入の確保に努めることで事業の安定的な経営を目指す。

また、将来の更新需要への財源確保も非常に重要であるため、資産把握と長期的な視点により、効率的・効果的な維持管理と投資による経費削減・経営改善に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。